

現代のライフイベントから学ぶ 研究者の持続可能なライフプランとは？

2022年9月15日（木）11:50～13:10 大阪公立大学・杉本キャンパス
（日本放射線影響学会第65回大会において開催）

本セミナーでは、年を重ねるごとに直面する結婚・出産・育児・介護などについて、仕事との両立の難しさ、どのように乗り越えようとしたのか、などを含むパネルディスカッションを行います。私たちの研究者人生、そして次世代以降の研究者にとって持続可能なライフプラン設計の一助となれば幸いです。あらゆる年代の会員の皆様のご参加をお待ちしております。

Program

● 開会挨拶（キャリアパス・男女共同参画委員会委員長 飯塚 大輔）

第一部・特別講演 「ケアとジェンダーから考える
研究者のワーク・ライフ・バランス」

異 真理子 氏（大阪公立大学女性研究者支援センター）

（ご講演内容）

子育てや介護などのケアを抱えた研究者にとって、授業や学生指導、大学運営という仕事（ワーク）と家庭責任（ライフ）をこなしながら、研究というもう1つの大切な「ワーク」を続けていくことは重要なポイントです。このような研究者のワーク・ライフ・バランスについて、父親の子育てと働き方をジェンダー視点で研究しながら、大学における研究者支援に関わってきた経験から、様々なデータや研究成果をもとにお話します。

第二部・パネル討論 「現代のライフイベントから学ぶ
研究者の持続可能なライフプランとは？」

島田 義也 氏（環境科学技術研究所）
岡崎 龍史 氏（産業医科大学）
朝田 良子 氏（大阪公立大学）
吉野 浩教 氏（弘前大学）
藤通 有希 氏（電力中央研究所）
藤本えりか 氏（麻布大学）

● 閉会挨拶（日本放射線影響学会 理事長 田代 聡）

※ 当日は軽食を配布する予定です（数量限定です）。

※ ご不明点等は、jrrs.cpgec@gmail.comまでお問い合わせください。

後援：男女共同参画学協会連絡会、日本放射線影響学会若手部会、
日本放射線影響学会SITプログラム小委員会